

はじめに

この本を手にとってください、ありがとうございます。「産業医の資格をとったけど、どうしたらいいの?」「どのように産業医として活動したらいいの?」と悩んでいる先生も多いのではないのでしょうか。

この本は、臨床を中心に活躍されている先生が産業医をはじめたときに、企業に面接に行くときや、産業医として契約先に向かう電車内で読んで、業務の内容や産業医の役割、現場での対応を頭のなかで整理できるように要点を抽出しました。

本書を理解し実践した後に、ぜひ本書で紹介した先輩産業医の先生方の良書やインターネットで検索できる公的機関のURLを参考にして、さらなる理解を深めて下さい。

最近では“働き方改革”や“健康経営”により労働者の健康管理に注目する企業が増えてきたことから、産業医の役割も注目されるようになりました。時代の流れとともに産業医に求められるニーズやスキルは変化するため、常に求められているニーズに対応できるスキルが必要になります。

産業医はけっして楽で華やかな仕事ではなく、「働く人や企業を支えるサポーター」であり、縁の下の力持ちで地道な仕事です。産業医の醍醐味は辛抱強く、じっくりと向き合わなければ感じることはできません。そのためにはベースのスキルとなる産業医術が必須です。本書で基本となる産業医術をマスターすれば、多様化するニーズにも慌てず自信をもって対応することできるでしょう。そしてこの産業医術は、臨床や研究現場でも応用でき、AIの進歩がどんなに進んでも、けっして真似することのできない“問題を解決する技術”です。

本書で産業医術を学び、視野を広げ、新たなキャリアに役立てていただければ幸いです。

2019年11月

川島恵美 山田洋太